

日本の魅力は衰えていると言われるが、果たしてそうか??

二文字屋修 (2024. 2. 5)

1, ベトナム労働傷兵社会省海外労働局発表資料から

a, 2023年海外で働くベトナム人労働者

総数: 159,986人 (男性 104,182人、女性 55804人)

国名	総数	男	女
日本	80,010	45,487	34,523
台湾	58,620	40,190	18,430
韓国	11,626	10,553	1,073
中国	1,806	1,804	2
ハンガリー	1,539	804	735
シンガポール	1,355	1,355	0
ルーマニア	840	681	159
ポーランド	797	642	155
香港	584	584	0
マレーシア	480	295	185
サウジアラビア	444	92	352
ロシア	266	227	39
マカオ	169	119	50
他	1,450	—	—

b, 2022年海外で働くベトナム人労働者

総数: 142,779人

国名	総数
日本	67,295
台湾	58,598
韓国	9,968
シンガポール	1,822
中国	910
ハンガリー	755
ルーマニア	721
ポーランド	494
ロシア	467
他	1,749

## 2、日本の魅力は衰えていない

コロナ禍前の2019年、ベトナムからの労働者派遣総数は152,530人で、日本は82,703人で54.2%を占めた。コロナ禍後の2023年は上記の通りで、総数はほぼ戻ったものの、日本が約2,700人減少という状況です。しかし海外労働者のうち50.0%を日本が占めている事はまだまだ日本の魅力は衰えていないとみるべきでしょう。

また円安が訪日希望者に影響を与えているという説明があるが、それが2,700人減だとしたら、ずいぶん少ないのではないのでしょうか。

## 3、日本におけるベトナム人労働者のボリュームが生む好循環

厚労省発表の令和5年10月末の外国人労働者数2,048,675人(前年比225,950人増)で過去最高になりました。

この内ベトナムは518,364人(前年比55,980人増)で構成比25.3%です。中国は397,918人(前年比12,070人増)構成比19.4%。フィリピン226,846人(前年比20,796人増)構成比11.1%を加えると3国で55.8%を占め、外国人労働者地図で存在感を増しています。

ベトナムの52万人というボリュームは決して少なくありません。日本各地のベトナム人がSNS上でエスニックグループを形成し、情報とヒト・モノ・カネを動かせるのです。

ベトナムで訪日希望者にその動機を聞くと、多くは親せきや友人が日本にいることを挙げます。日本行きを決める際のポイントに、52万人が大きく貢献していることがわかります。高卒や大卒の若いベトナム人が初めて日本へ働きに行くとき、きっと不安な気持ちを抱くでしょう。それを取り除き、安心感をもたらすには、日本に知り合いがいることの人間的つながりが大きな役割を果たします。そのつながりが人材移動の好循環を生んでいると思います。